

# 小学校 特別活動 言語活動の充実 指導のポイント

## 特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

## 言語活動の充実

よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動を充実する。

体験活動を通して感じたり、気付いたりしたことを振り返り、言葉でまとめたり、発表し合ったりする活動を重視する。

## 体験したことをまとめ、伝え合う力を育てる事例

1 学年 第5学年

2 行事名 集団宿泊学習を有意義にしよう

3 行事の目標 集団宿泊学習を通して、自然や文化に親しむとともに、基本的な生活習慣や公衆道徳などの体験を積み、お互いを思いやり、ともに協力し、支え合うなどの望ましい人間関係を育てる。

### 4 言語活動の充実の視点

視点1：キャンプファイヤーでの出し物について話し合う活動（思考・判断・実践の能力）

視点2：体験したことを言葉でまとめ、発表する活動（思考・判断・実践の能力）

### 5 主な学習活動（2泊3日）

段階	学習活動
事前の活動	・ 集団宿泊学習の意義や目的について理解する。 ・ 集団宿泊学習での自己目標を決定する。 ・ キャンプファイヤーでの出し物について話し合う。 <div style="text-align: right;">視点1</div>
実践	・ 山登り、ウォークラリー、キャンプファイヤー、野外炊飯を協力してやり遂げる。 ・ 活動中に感じたことや気付いたことをメモする。 ・ その日の活動のまとめをしおりに記入する。
事後の活動	・ 体験したことを振り返り、感じたことや気付いたことなどを集団宿泊学習のまとめとして文章で書く。 ・ まとめた文章を基に、お互いに感じたことや気付いたこと、周りの人たちへの感謝の気持ちなどを発表し合う。 <div style="text-align: right;">視点2</div>

## 留意事項

○ 体験活動は、協力や思いやり、責任などの大切さを実感できる場です。しかし、まとめをしっかりと行わないと学びのない活動だけで終わってしまうこともあるので、事後の活動もしっかりと行いましょう。

## 言語活動の充実のポイント

○ 文章でまとめるだけでなく、自分の思いを自分の声で発表し、相手に伝える活動は大切です。  
また、聞く側の態度を指導することで、伝え合う活動が更に充実したものになります。

## 評価の観点

○ 様々な活動の中で出てくる課題を解決していくための自己の行動の在り方について考え、判断し、周りの人たちと協力して実践しているかという観点で評価しましょう。